

<b>タイトル</b>	「女性誌編集長から新規事業創出へ～女性活躍推進はわがミッション～」
<b>講演者</b>	<b>麓 幸子様(ふもと さちこ)氏</b>
<b>講師紹介</b> 	日経 BP ヒット総合研究所長・執行役員(日経ウーマン前編集長) 1984年筑波大学卒業。同年日経BP社入社。1988年「日経WOMAN」に創刊メンバーとして携わる。2006年日経ウーマン編集長、2009年日経ウーマンオンライン編集長兼務。2012年ビズライフ局長に就任、日経ウーマン、日経ヘルスなど3媒体の発行人になる。2014年現職。同年法政大学大学院経営学研究科修士課程修了。筑波大学非常勤講師(ジャーナリズム論、キャリアデザイン論)。経団連21世紀政策研究所研究委員。経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」サポーター。一般社団法人日本MOT振興協会(有馬朗人会長)「女性の活躍舞台づくり」委員会オブザーバー。所属学会:日本労務学会。日本キャリアデザイン学会、日本産業カウンセリング学会。『とくダネ!』(フジテレビ系)、『やじうまテレビ』(テレビ朝日系)、『7PM』(BS ジャパン)などのコメンテーターを務め、メディア出演豊富。企業、自治体、官公庁などが主催する講演の実績は200回を超える。一男一女の母。著書等に、長男の就活経験をもとにした『就活生の親が今、知っておくべきこと』(日本経済新聞出版社)、『なぜ、女性が活躍する組織は強いのか? 先進19社に学ぶ女性の力を活かす「仕組み」と「習慣」』(日経BP社)、『企業力を高める-女性の活躍推進と働き方改革』(共著、経団連出版)ほか。
<b>概要</b>	働く女性の情報誌『日経ウーマン』創刊メンバーであり、編集長・発行人を歴任。四半世紀以上にわたり、働く女性と女性を生かす企業を見てきた。その知見・情報・ネットワークを生かし、女性誌事業というB to C事業から、組織(企業・自治体)等の女性活躍推進を支援するB to B事業を創出した。 「日経WOMAN女性が活躍する会社ベスト100」、「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」という2つの主要企画をキーとして事業をどのように組み立て、どのように発展させてきたか、事業担当者としてのビジョン、プロジェクト構築、実績を紹介する。 また、「2030」(2020年に指導的な地位に占める女性の割合を30%にする政府目標のこと)に向けて、政府はさまざまな施策で企業に女性活躍推進を迫る。公共工事やサービス契約など公共調達で女性活用企業を評価する、いわば、「グリーン調達」ならぬ「ダイバーシティ調達」も本格的に始まろうとしている。また女性活用企業を税制優遇する施策も検討されている。 そのような政府の動向の解説と、女性の活躍推進に成功している「日経WOMAN女性が活躍する会社ベスト100」ランキング企業の人事戦略と施策をご説明する。